

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第25-190330号

2014
6



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841
E-mail:honda@rid2840.jp

6月号
Vol.12
2014年6月1日発行

本年度の新会員 Our New Hope

(2013年7月～2014年5月入会者)



鈴木 敏文



中西 勅裕



那雲 竜夫



伊丹 伸治



西村 浩一



樋口 哲雄



水島 高弘



多賀谷 敏晴



黒河 健三



高岡 成介



塚田 修司



茂木 芳男



古賀 直樹



三好 建正



矢島 勲



秋山 武郎



「ガバナー月信」6月号目次

表紙	01
目次	02
ガバナーメッセージ	03
地区補助金最終審査会報告	04
インターアクト国際交流事業報告	05
青少年交換委員会事業報告	06
2014 学年度継続米山記念奨学生資格確認面接・ 新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー・ 新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション報告	08
第27回茶の湯研修会開催報告	09
第5回ガバナー諮問委員会&現新地区役員合同連絡会議報告	10
IM (Intercity Meeting) 報告 [第3分区]	11
IM (Intercity Meeting) 報告 [第1分区]	13
周年記念式典報告 (館林東RC 30周年)	14
周年記念式典報告 (渋川みどりRC 20周年)	15
周年記念式典報告 (前橋西RC 50周年)	16
周年記念式典報告 (藤岡RC 50周年)	17
本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」	18
地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ 竹内年度行事予定表	22
新会員紹介	23
文庫通信	25
出席報告	26
ガバナー事務所からのお知らせ・編集後記	27



ガバナーメッセージ

いよいよ私たちの年度の最終月です。
クラブの中に「希望」は見つかりましたか？

2013-14 年度

ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは !!

いよいよ私たちの年度も残すところあと1か月となりました。実は、6月は「ロータリー親睦活動月間」(Rotary Fellowship Month)という特別月間なのです。「ロータリー親睦活動」は、3つ以上の国のロータリアンが、共通の趣味、関心事項、職業等を通じて交流する国際的なグループ活動のことで、私たちが日頃慣用的に言うクラブの「親睦活動」とは全く別物です。国際的なネットワークであるロータリーの特長を生かした面白い活動だと思いますが、2840地区でこの「ロータリー親睦活動」に参加している会員はごく少数なので、詳細解説は省きます。興味のある方は、RIのウェブサイトで見つけてください。

さて、私は、年間を通じて「希望を語ろう！」という地区スローガンを掲げ、「元気なクラブ」にしてゆくための可能性をクラブの中に見出そう、と呼びかけてきました。皆様のクラブの中に希望の“芽”は見つかったでしょうか？

年度が始まる時に、私が心に抱いた唯一の「野望？」は、すべてのクラブが「元気」になって、会員純増を達成する！ということでした。IM等で、多くのクラブが会員増強や「元気なクラブづくり」に目覚ましい成果を上げたとの報告をお聞きし喜んでいますが、残念ながらまだ成果を見るには至っていないクラブもあるようです。

しかし、私たちがこれからもロータリーに積極的に参加し (Engage Rotary)、信頼できるクラブの仲間と「希望」を語り合うことを続けることができれば、私たちの人生もクラブの未来も益々輝きを増してゆくにちがいありません。

それにしても、私はロン・バートンRI会長の年度に地区ガバナーを務めることができた幸運を思わざるを得ません。詳細は本号のガバナー・コラム (最終回) をぜひご一読いただきたいのですが、“Engage Rotary, Change Lives” (ロータリーに積極的に参加し、人生を変えよう) という本年度のRIテーマは、ロータリーの不変の理念である「奉仕の理念」、「超我の奉仕」とともに、今後も私たちロータリアンの基本的な行動指針であり続けるでしょう。

会長・幹事の皆さん !! 皆様とともに歩んだ本年度のガバナーとしての体験が私の最高の「ロータリーモメント」(感動体験) となりました。心より感謝申し上げます。私たちは苦楽を共にした同期 (Classmate) の仲間です。今後も、会合でお会いした時には、気軽にお声がけいただければ幸いです。

毎月の月信配信は本号で終わりますが、年間の地区活動をまとめて報告する『本田年度月信終刊号』を7月中旬に発行予定です。クラブにおいても次年度との引き継ぎを進めていると思いますが、『終刊号』も次年度クラブ指導者と情報共有し、クラブ運営の参考にしていただきたいと思います。



地区補助金最終審査会報告

最終審査会無事終了する

地区副幹事 鴻田 敦

2014年（平成26年）4月26日（土）10：30～14：30、前橋問屋センター会館においてR財団地区補助金最終審査会が開催されました。

冒頭の伊能富雄R財団副委員長の開会宣言に続き、本田博己ガバナー及び牛久保哲男R財団委員長の挨拶、森田高史R財団補助金委員長による協議の進め方についての説明を経て協議に入りました。

本審査会の内容は、主に以下の2点であります。

1. 当年度（2013～2014年度）実施事業地区補助金報告書審査
2. 次年度（2014～2015年度）実施事業地区補助金申請書最終審査及び地区補助金額の決定

1. 「当年度（2013～2014年度）実施事業地区補助金報告書審査」について

藤丸兼一資金管理委員長の進行により、3月29日以降提出された実施報告書及び前回までの審査会でペンディングとなった実施報告書の再審査合計13件並びに事業経過報告書（事業が完了していないため）2件の審査が実施されました。審査対象となった15クラブのうち、今回の最終審査で問題ないとして承認されたものは4クラブ、一部書類の不備等が指摘され再提出を求めるもの9クラブとなりました。再提出を求めた9クラブについては不足書類等を提出して頂くこと、事業経過報告書を提出した2クラブについては事業完了後報告書をそれぞれ速やかに提出して頂くことを確認して審査を終了しました。

2. 「次年度（2014～2015年度）実施事業地区補助金申請書審査」について

下井田秀一地区補助金委員長の進行により、3月29日以降提出された申請書類の審査が実施されました。既に内定となっている申請分の確認や前回以前の審査会でペンディングとなったものの再審査も実施し、出席委員の合議により提出された33全ての事業について実施事業の承認及び補助金額の決定がなされました。ただ書類の不備等指摘されたクラブについては申請書類の再提出を求めるものとされました。

なお、各クラブに配分が決定された補助金の額は、地区補助金予算額が各クラブの地区補助金申請額合計を上回ったため、クラブ毎の補正貢献度（1.66 から 1.1）を加味して配分するため申請額以上の配分となりました。

高木貞一郎R財団委員会アドバイザー・地区研修委員の総評、生方彰ガバナー・地区研修委員の閉会挨拶、伊能富雄R財団副委員長の閉会宣言を持って地区補助金最終審査会は終了いたしました。





2013 - 2014 年度 RI 第 2840 地区・第 2560 地区合同

インターアクト国際交流事業報告

日本と台湾の友情を深め合う

インターアクト委員会 委員長 高井和雄

4月25日（金）26日（土）の両日台湾の清傳高級商業学校・三重高級中等学校の生徒26名、学校関係者6名と、RI第3490地区三重中央扶輪社のロータリアン、家族の皆さま27名総勢59名をお迎えしてインターアクト国際交流事業が行われました。

第1日目25日（金）は、高崎商科大学附属高等学校に台湾の皆さまをお迎えしての歓迎セレモニーが盛大に行われました。全員で記念撮影後、学校の講堂にて吹奏楽部の演奏、空手部の演技でのお出迎えから始まり、日本からは本田ガバナー、森本校長、生徒会長大井さんの歓迎の言葉、台湾からは李社長、歐校長先生、生徒代表の呉さんの感謝の言葉の後、日・台記念品の贈呈式が行われました。次にホームステイ受け入れの家族の紹介、台湾の生徒さんはホームステイ先に、学校関係者とロータリアンは夜にホテルメトロポリタン高崎で歓迎会を行いました。

2日目は、ロータリアンと学校関係者は、バスにて榛名神社、箕郷の芝桜等を見学し、4時にさよならパーティーの会場であるサンコー72カントリークラブへ、台湾の生徒とホームステイファミリー、3月に台湾研修に行った群馬・新潟の生徒、ロータリアンも集合し、総勢160人の参加のもと、さよならパーティーが盛大に行われました。高崎南ロータリーの会長より台湾の生徒さんの名前入りのTシャツがプレゼントされ。祝宴では台湾・日本の生徒たちが各々歌や踊りで盛り上がり、参加者全員でジャンカを踊り、最後はロータリーソング「手に手つないで」で別れを惜しんで散会いたしました。

今回の受け入れの準備に際しては、地区の本田ガバナーはじめ、役員の方々、委員会のメンバー、そして私の所属する高崎南ロータリークラブのメンバー、ホームステイ受け入れの高崎商科大学附属高等学校の森本校長先生はじめ先生方、保護者の皆さまのご理解・ご協力があつて、今回の国際交流事業は大成功に終わることが出来ました。今回の国際交流事業に関わった全ての方に感謝申し上げます、報告とします。



Tシャツ胸マーク



Tシャツ背中

国際ロータリー第2840地区 2013-2014年度

青少年交換委員会事業報告

宮城県南三陸町災害ボランティアに参加して

青少年交換委員長 前原 信之

担当委員 堀 明

日 時 2014年4月26日 AM01:00~PM10:30
場 所 宮城県南三陸町
目 的 南三陸町地内の水田瓦礫ひろい
出席者 留学生4名 Benjamin Skyler Connor Melaney
ローテックス1名 正田亜海
青少年交換委員会1名 堀 明



桐生市社会福祉協議会内災害ボランティアセンターの南三陸災害ボランティア募集に参加してきました。2014年4月26日(土)午前00時45分桐生駅南口に集合して夜行バスにて南三陸町に向かいました。

当日は、朝9時地元ボランティアセンターに登録を行い活動内容の支持を受け活動に入りました。作業は、農家の方が5月初旬より田植えをしたい田んぼがあるので瓦礫拾いをして欲しいとの依頼があった田んぼ5枚(約600坪)の場所の石、瓦の破片、ガラス、金属片などを拾う作業で、午前3時間午後2時間30分の作業を行いました。

年齢層も違うさまざまな人たちが参加していて、作業後に参加した動機や参加しての感想を聞く事ができボランティアとは何かを考え直す機会になったと思います。留学生たちもこのボランティア活動から何かを習得してくれたと思います。

南三陸町の人たちの気持ちを考え、写真撮影は禁止されている為、制約のある中許可を得て撮影しているのでこの様な写真しか取れませんでした。



受入学生が今日の日を日本での良き生活の一部として心に深く留めて貰い、親善大使として成長していく事を願い皆様に感謝して、宮城県南三陸町災害ボランティアに参加しての報告とさせていただきます。



2014 学年度 継続米山記念奨学生資格確認面接 新規米山記念奨学生カウンセラー セミナー

新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション報告

日本と母国を結ぶ懸け橋となる人材育成

米山奨学委員会 担当副幹事 星野 大輔

平成26年4月27日（日）前橋問屋センター会館にて2014 学年度 継続米山記念奨学生資格確認面接、新規米山記念奨学生カウンセラー セミナー、新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーションが行われました。

10:00～10:50

継続米山記念奨学生資格確認面接を、前橋問屋センター会館「松の間」にて実施しました。面接員は、本田ガバナー、高木常務理事、安藤評議委員、板垣地区幹事、田中委員長で、年度末の成績、世話クラブ及びカウンセラーと会員との交流、奨学生としての感想、奨学期間終了後の進路について確認しました。

11:00～12:20

新規米山記念奨学生カウンセラー セミナーを「春・夏の間」にて実施しました。この時間は、各クラブのカウンセラーを対象に、DVDによる「米山奨学事業の今」を上映し全体のイメージを把握して頂き、高木常務理事のさらに細かい説明で理解を深めてもらいました。さらに、皆さんの緊張をほぐすかのように山田前橋RC直前会長の体験発表で貴重なお話を頂きました。

13:00～15:00

新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーションを、奨学生、奨学生担当教授にも参加していただき実施しました。

田中委員長より、心得、確約記入、署名の説明があり、米山学友会直前会長王宇さんよりお話を頂きました。最後に奨学生代表として、カンドゥ、クリスティーナさんより挨拶を頂きました。

以上、2014 学年度に期待し閉会となりました。



第27回茶の湯研修会開催報告

おもてなしの心は茶の湯から

地区幹事 板垣 忍

見事に晴れ上がった5月11日（日）11時より「前橋プラザ元気21」の茶室他で2840地区の第27回茶の湯研修会が開催されました。

当日は前橋を会場に他の茶会、朔太郎にちなんだイベントやザスパクサツ群馬のスポーツイベントも開催されており、いつもより少なめの20名ではありましたが、ロータリアンの中でもとびっきりの文化人？が集合いたしました。

茶席の前に、今回もご夫婦で参加された本田博己ガバナーより「今年度も残すところ51日となってしまいました。目標達成に向けてチョッと焦っています。私自身お茶とのご縁は無いものと思っておりましたが、このような素晴らしい機会を頂いたことに感謝します」とのご挨拶に続き、地区茶の湯倶楽部代表世話人の森田 均パストガバナーより「栄西と茶」と題して講話を頂きました。

1191年に栄西禅師が宋より持ち帰った『茶』が、日本でどのように理解され愛されて、おもてなしの気配りを尊重する日本人の精神醸成に関わってきたのかという歴史の発端をお話し頂きました。

井上英美子地区茶の湯倶楽部世話人の細やかな心遣いによる美味しいお弁当を頂き、いよいよ茶室に移りお茶席となりました。

森田代表世話人にお持ちいただいた掛け軸「落花時節又逢君」（【落花の時節にまた君に逢う】ここでの『君』は女性ではなく男同士の友情です）という説明に続き、前橋東ロータリークラブの近藤日出夫会員が席主を務められ、お花や茶道具について解説していただき、近藤さん所有の魯山人の作による茶碗で正客の本田ガバナーが、そっと優しく囁く奥様のご指導の下、ごちなさを表しながらも立派にその任を果たされました。なかなか微笑ましい光景ではありました。（エヘヘ。）

茶の湯倶楽部の皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



第5回ガバナー諮問委員会&現新地区役員合同連絡会議報告

みんなで語った希望を46の物語へ！

地区幹事 板垣 忍

ジメジメと暑い、何となくボワ〜とした気分にも負けず、5月25日の日曜日、群馬県庁31階のレストラン【ヴォレ・シーニュ】にて「第5回ガバナー諮問委員会」が開催されました。高木貞一郎パストガバナーをはじめとする18名の委員会メンバーにご出席をいただき、本田年度の行事報告と竹内年度の運営方針について様々な角度から貴重なご意見を頂戴いたしました。

1. 2013—14年度 地区主要行事報告
2. 2013—14年度 周年行事・IM報告
3. 地区会員数報告<過去10年度会員数月別推移>
4. 2013—14年度 第1～3ゾーン会員数報告
5. 2013—14年度 地区会計収支計算予定書
6. 地区指名委員会報告



【諮問事項】

1. 次年度（竹内年度）運営方針の件

引き続き、現新地区役員合同連絡会議が同会場で開催されました。

「今年度役員の皆様、本当にありがとうございました。次年度の皆様をしっかり引き継ぐために例年より1カ月早く合同会議を開催させていただきました。竹内年度でさらに素晴らしい2840地区になることを信じています」と本田ガバナーの挨拶に、「今年度は十分に希望を語っていただいたので、次年度ではそれを基に46の物語を作ってもらえるように頑張ります」とニコニコとウレシソウな竹内エレクトの挨拶の後、疋田直前ガバナーの乾杯で開宴となりました。70名の役員が一堂に会するとさすがに壮観で、今年のT1グランプリ受賞の「まえとん咖喱飯」を頬張りながら、楽しく賑やかに初夏の世は更けていったのでした。





IM (Intercity Meeting) 報告

「ロータリーライフを語ろう」

第3分区IM実行委員長 竹中 隆 (高崎北RC)

第3分区のIMは、浅田ガバナー補佐の主幹のもとに、輩出クラブである高崎北ロータリークラブに実行委員会を設け、本田ガバナーの提唱する「希望を語ろう」を踏まえ「ロータリーライフを語ろう」をテーマに、平成26年5月11日(日)に高崎ビューホテルで開催いたしました。

ご来賓として、本田ガバナー、安藤パストガバナーのご来臨をいただき、地区からは、板垣地区幹事、石井地区副幹事、山田次年度第1分区ガバナー補佐にご参加いただきました。

地区内各クラブには、会長、会長エレクト、副会長、副会長エレクト、幹事、次期幹事、ロータリー財団委員長(又は未来夢計画実行)委員長、社会奉仕委員長、プログラム委員、会員増強委員長、入会3年目までの会員のご参加をお願いし、高崎北クラブの事務方、オブザーバーを含め、約100名の事業となりました。

IM開催の目的、会員にロータリー情報を伝える、立派なロータリアンを養成する、会員相互の親睦と面識を広めるを踏まえ、本田ガバナーによる基調講演に続き、第1部は各クラブ代表からの事例発表とさせていただきます。

第1に、ロータリークラブ全体の問題でもあります「会員増強退会防止策」の事例発表、第2に、計画の策定や手続きに各クラブが暗中模索していると考えられた、RI肝いりの「ロータリー財団未来夢計画実施状況と来年度の計画」の発表、最後に、退会防止にもつながるであろう魅力ある例会にするための「例会プログラム」について過去3年間の各クラブの工夫やご苦労をお話いただきました。

詳細は省かせていただきますが、画期的な事例、どこのクラブでも皆取り組んでいると思われたが実はそのクラブの本当の特徴だった事例、改めてお話を聞かせていただき、気付かされることの多い発表だったとのご意見も頂きました。

さて、第2部こそ、ホストであります高崎北クラブの本領?、実力の発揮しどころです。会員相互の親睦こそ、楽しいロータリーライフの基本であるとの強い信念のもと、会場設営、開会から高崎北クラブのスタイルとさせていただきます。会場の席割はくじ引きで決め新鮮な出会いを演出し、開会前に「スキンシップタイム」と称し、握手やハグで一層親近感を持っていただきました。

いよいよ、「クラブ対抗カラオケ大会」です。各クラブ選抜メンバー2名によるカラオケ大会で、本田ガバナー、安藤パストガバナー、浅田ガバナー補佐、板垣地区幹事、立見高崎北RC会長に審査員となっていただきました。

浅田ガバナー補佐の強い意向で、最初に本田ガバナーにお歌をいただきガバナーの歌唱力等を基準点に採点するという大変失礼なことをお願いしましたが、ガバナーは快くお引き受けいただき、数ある持ち歌の中から「東京の花売り娘」をご熱唱いただきました。

第3分区内のクラブの皆様とは、新年例会や合同例会でご一緒させていただいていましたが、違う一面を見せていただいたのと同時に、カラオケ大会ぐらいでとっては失礼ですが、各クラブのカラーがこんなに出るものなのだとすることに大変驚きました。結果は僅差でしたが、優勝が高崎南クラブ、準優勝が高崎北クラブ、3位が高崎シンフォニークラブでした。

審査結果集計の時間をいただき、高崎北、セントラルクラブの事務局の横尾真実さんの「南京玉簾」をご披露させていただきました。事務局員として皆さんご存じだったのですが、このような特技があったこと、そのレベルの高さ、かわいいお顔に似合わない？舞台度胸に、拍手喝采！。「おひねり」は飛び交うは大変な盛り上がりでした。

高崎北クラブでは、地区大会、ゾーン研究会、RYLA 研修会などのホストをさせていただいてきましたが、IMのホストは入会18年目の私にとっても初めてであり、実行委員も皆経験したことがありませんでした。

本田ガバナーのテーマ、浅田ガバナー補佐のIMテーマとテーマやそれぞれのクラブの課題解決のための企画に基づいて運営をいたしました。ご参加いただいた皆様にとどこまでご参考になったか、内容は適切であったかなど、反省しきりであります。ただ、このIMの実行を機に改めて、実行委員、高崎北クラブの結束が図れたこと、ロータリーライフについて考えたことは間違いなかったと確信しています。このような機会を与えていただきました皆様、IMにご参加いただきました皆様へ感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



IM (Intercity Meeting) 報告

仕事の名刺を持ってIMへ

第1分区ガバナー補佐 北爪 國平（前橋中央）

平成26年5月18日（日）前橋商工会議所会館で第1分区のIMを開催致しました。一年中で一番すがすがしい、若葉あふれる素晴らしい行楽日和の日曜日にもかかわらず、午後2時開始から午後6時40分終了まで、長時間にわたり多くのロータリアンに熱心に参加して頂きました。今回のIMでは参加者の皆様に、仕事で使っている名刺を30枚以上持って参加してもらいたいとお願い致しました。知り合いを広め親睦を深める会としたい為です。

午後2時に開会式を開始し、ホストクラブである前橋中央ロータリークラブ石川直美副会長の点鐘から始まりました。

開会式終了後、来賓の本田ガバナーに基調講演を頂きました。IMの歴史と意義について述べられた後、ガバナーの掲げられたテーマ「希望を語ろう！」に関し、自律的なクラブとなる事、自律的なロータリアンとなる事の必要性について熱く語られました。

基調講演の後の全体会は、第1分区6クラブ会長によるパネルディスカッションを行いました。メインテーマ「クラブの課題と希望」に沿ってこの1年間の会長の経験を発表して頂きました。サブテーマとして（1）自己紹介・会長を経験した感想、（2）会員増強について、（3）クラブ自慢、（4）未来の夢計画の取り組みについて、（5）広報活動について、（6）親睦活動について、の6項目をお願いしておいたのですが、会長全員が話上手だったため、3項目で予定の80分を使い切ってしまいました。

分科会は「知り合いを広めよう」を目的に、10グループに分かれ自己紹介を中心としたミニ卓話で、親睦を深めて頂きました。普段は名刺交換しても短い言葉を交わすだけに終わってしまいますが、この会では丁寧な名刺交換会となったと思います。

閉会式ではグループリーダーによる分科会報告に続き、ゼネラルリーダーをお勤め頂きました曾我隆一パストガバナーから総評を頂き、会を引き締めて頂き、閉会となりました。

最後の懇親会は敢えて立食形式とし、分科会に続き、名刺交換を沢山して下さるようお願いし、楽しく名刺交換を行い、「手に手つないで」で終了いたしました。

今回のIMではアトラクション等は何もしないで、分区内の情報交換と親睦のみを目的として開催しました。会議ばかりで退屈だったかも知れませんが、忍耐頂きました来賓の皆様はじめ、ご参加頂きました皆様に感謝しております。

ありがとうございました。



周年記念式典報告

館林東ロータリークラブ 創立30周年記念

館林東ロータリークラブ 会長 鏑田 貴一郎

館林東ロータリークラブは、平成26年4月20日、創立30周年記念式典を開催いたしました。

本田ガバナー、安楽岡館林市長を始め多くの御来賓の方々、そして友好クラブであります高田東ロータリークラブ、足利わたらせロータリークラブを始め県内各地よりお出掛けいただきました多くのロータリアンの皆様をお迎えして盛大に催すことが出来ました。

この式典に際し、一番悩んだものはアトラクションを何にしようかと云うことでしたが、今まで他のクラブで催したことの無い落語に致しました。幸い会員の中に落語家とつながりの有る人がおりまして、2人の落語家（柳屋小蝠：二つ目、桂文治：真打）に出演していただきました。さすが真打、会場の年齢層を見て話し、爆笑の渦につつま、時間通りに終わり、次の祝宴も和やかに楽しく美味しいお酒が飲めました。

この式典の為、1年3ヶ月も前から計画、交渉、実行をしていただいた実行委員の皆様、会員の皆様、ご協力ありがとうございました。



周年記念式典報告

澁川みどりロータリークラブ創立20周年記念式典

澁川みどりロータリークラブ会長 川島 理

4月29日（昭和の日（旧みどりの日））に、アネーリ澁川において、開催いたしました。当日は、連休中にもかかわらず、阿久津澁川市長様・小林教育長様・本田ガバナー様・クラブゆかりの地域の方々、そしてスポンサークラブである澁川 RC をはじめとする県内外の多数のロータリアンの方々など150名にもおよぶ皆様にご参加いただき、盛大に開催することができました。また、現在は、ロータリーを離れてしまっているクラブ創設時のメンバー様や齋藤弘一特別代表様の懐かしいお顔を拝見することもできました。

会では、下記の記念事業を、パワーポイントにより写真をご覧いただきながら紹介致しました。

- 1：榛名養護学校への掲示板寄贈
- 2：澁川市へ「高齢世帯用救急ポット」の寄贈
- 3：米山記念館訪問例会の実施
- 4：澁川みどりロータリークラブ杯争奪北毛地区ミニバスケットボール大会の開催

式典の後の懇親会では、「東京大衆歌謡楽団」の懐かしの昭和歌謡を聞きながら和気あいあいとした雰囲気の中、あっという間に時間となってしまいました。ほとんどの参加者の方に最後まで残っていただき、「手に手つないで」も会場を目いっぱい使う大きな輪を作ることができました。

最後に、この場をお借りいたしまして、ご参加いただきました皆様方のみならず、20年間私ども澁川みどり RC を支えてくださいました皆様にも厚く御礼申し上げます。今後とも、澁川みどり RC をよろしくお願ひ申し上げます。



周年記念式典報告

青空の下で前橋西ロータリークラブ創立50周年記念式典開催

会長 黒岩 保弘
実行委員会 委員長 平田 育夫

去る、5月10日（土）晴天の下、前橋西ロータリークラブ創立50周年記念式典を街中の前橋中央イベント広場で開催いたしました。

当日は、山本前橋市長、本田ガバナーをはじめ多くのご来賓の方々、県内外の多くのロータリアンの皆様のご臨席を賜り盛大に挙行することができました。

式典を屋外でオープンにした開催という前例のない式典開催としたのは、広く「地域とともに」推進してゆきたいとの願いからです。

同日、式典終了後前橋テルサに於いて記念事業の「群響有志と児童・生徒による演奏会」も開催されました。当日は、満席となり立ち見の方も多く盛会裏に終了することができました。

演奏会では、児童・生徒の素晴らしい演奏に涙する方も多く見受けられました。

改めてご臨席いただいた皆様に感謝もうしあげます。本当にありがとうございました。

50周年記念3事業の紹介

- ①：「群響有志と児童・生徒による演奏会」の開催
- ②：アーツ前橋へ美術図書（138冊）の寄贈
- ③：前橋ユネスコ協会と前橋西ロータリークラブとで「絵画展」を共同開催市内の児童・生徒を対象に「私の住みたい夢の街」というテーマで作品を募集し「絵画展」を開催



周年記念式典報告

藤岡ロータリークラブ創立50周年記念式典

藤岡ロータリークラブ 黒澤 欣一

藤岡ロータリークラブは平成26年5月17日（土）に創立50周年記念式典と祝賀会をみかぼみらい館で開催しました。開催に先立ち藤岡市立神流小学校合唱部員の皆様に三曲を歌っていただき、清々しい気持ちになったところで式典がスタート。ご来賓として、本田地区ガバナー、藤岡市長新井様、藤岡商工会議所会頭梅澤様、パストガバナー、ガバナー補佐、地区幹事他、石川県羽咋市から友好クラブの羽咋ロータリークラブの皆様が駆けつけて下さり、また県内各クラブの会長、幹事、ロータリーファミリー等300名の方々にご臨席を賜り盛大に開催する事ができました。

式典は高橋副実行委員長の開会の辞に始まり、岩崎実行委員長の歓迎の言葉、黒澤会長の挨拶に続き、布施創立50周年記念事業委員長から事業報告を行いました。

記念事業は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産登録となる藤岡の高山社蚕業学校、その創立者、高山長五郎翁の銅像を藤岡市に寄贈、目録を市長にお渡し致しました。銅像は立像で高さが1メートル83センチ、重さが280キロで当面は市役所中庭に仮設置。その後現在整備中の高山社跡の駐車場の一角に1メートル50センチの高さの台座の上に移設、3メートル30センチの高さに仕上がる予定です。ロータリー年度の6月末に世界遺産登録される見通しとなり、藤岡ロータリークラブの創立50周年と藤岡市制施行60周年が重なり、誠に時宜を得た事業であったと喜びもひとしおです。

祝賀会は同じ館内のホワイエで開催、ギターの演奏でスタート、清パストガバナーの挨拶で開宴し、お陰様で良いパーティーであったと自負しております。懇談の後、手と手つないでの全員で輪になって歌い、閉会となりました。皆様のご協力に心から感謝して報告と致します。



ガバナー・コラム **ロータリーの誤解・正解** シリーズ〈第12回最終回〉

第12回 ロータリーに希望はあるのか？

—ロータリーの希望を語ろう！—

ガバナー 本田 博己

ロータリーの言葉についての話題は尽きませんが、残念ながら今回は最終回です。この連載は、米国発祥で英語がすべての文献の正典とされるロータリーにおいて、翻訳された日本語でロータリーを理解している私たち日本のロータリアンが陥りがちな「誤解」について考えてみようというところから始まりました。

2013 - 14 年度ロン D. バートン RI 会長のテーマは、まさに英語原文と日本語訳のずれを考えるのに格好の題材でした。2013 年 1 月の国際協議会でロン D. バートン会長エレクト（当時）が発表した RI テーマは、“Engage Rotary, Change Lives” でした。世界の 537 地区から集結した私たちガバナーエレクトの仲間は、このテーマをスタンディング・オベーションで熱狂的に歓迎しました。その時、日本語訳は「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」と示されましたが、私は、ずいぶん意識しているなあ、と少し違和感を覚えました。

国際協議会の間、そして帰国後も日本の同期ガバナーエレクトの皆さんと RI テーマの日本語訳について意見交換を行いました。素晴らしい名訳だという人もいましたが、ちょっと意識し過ぎではないかという人もいました。ネットで検索した欧米の各国語（ドイツ語、フランス語、スペイン語）訳も比較参照しました。こうした議論そのものが、私たち同期の RI テーマに対する理解を深めたと感じています。テーマを素直に訳せば、“Engage Rotary” は「ロータリーに積極的に参加しよう（関わろう）」、“Change Lives” は「自分も含めてみんなの人生（生活・生き方）を変えよう」となるだろうと考えました。

その後、ロン・バートン会長本人とそれ以外の人に関わらず、このテーマを引用した英文の文章の日本語訳で、“Engage Rotary, Change Lives” を「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」という訳に置き換えるだけでは、日本語として文意が伝わらない場合が多いことに気づきました。

ロン・バートン会長も、毎月の会長メッセージやインタビュー記事（ロータリーの機関誌である『ザ・ロータリアン』と日本の地域雑誌である『ロータリーの友』の共通記事）の中で、“Engage Rotary, Change Lives” というテーマを意識して、“engage” や “engagement”、“change” という言葉をキーワードとしてよく使っています。日本語訳は、それぞれの文脈の中で工夫された適訳となっています（“engagement” は「積極的な参加」など）が、日本語を読んだだけでは、RI テーマを踏まえた表現であるとは気がつかないのです。

最近、地区内のあるクラブの周年式典に参加した台湾の友好クラブ会長と名刺交換したとき、その



名刺には、RI テーマが「參與扶輪 改變人生」と印刷されていました。「參與」は「参与」＝参加し関与すること。「扶輪」は「ロータリー」。「改變」は「改変」です。また、ある地区の地区大会に
来日した韓国からの RI 会長代理によれば、韓国語訳（ハングルが読めないので今まで知りませんで
したが）を日本語に訳し直すと「ロータリーに参加し、人生に変化を」となるそうです。

先日（4月13日）2700地区の福岡での地区大会に参加したのですが、そのとき RI 会長代理の
ラタクル元 RI 会長（タイ国）がその挨拶の中で、“Engage Rotary, Change Lives” は「今後長年に
わたり実行すべきテーマ」だと強調されていました。「ロータリーに積極的に参加し、人生を変えよう」
という意味でとらえれば、ラタクルさんの主張がすんなりと腑に落ちるのです。今となっては、「ロータリー
を実践し みんなに豊かな人生を」という RI テーマの公式日本語訳は、ロン・バートン会長のテーマ
に込めた真意を伝えるにはいささか不適切な訳であったと言わざるをえません。

国際協議会では、RI テーマを地区内クラブや会員に徹底するのがガバナーの務めだ、と研修リー
ダーからご指導を受けました。ロン・バートン会長のテーマは、私たちへの問題提起(Challenge)であり、
私のロータリーライフで得た実感と一致する、大いに共鳴・共感できる普遍的な指針だと感じ、このテ
ーマの意義を機会あるごとに地区内会員に訴えてきました。

そのときに「補助線」のように使ったのが「希望を語ろう！」という地区スローガンです。

今、ロータリーは危機の時代を迎えているといわれます。2000年7月に2840地区が2560地区(新
潟)と地区分割してスタートして以来、歴代地区ガバナー年度の最重要・最優先の課題は、止まら
ない会員減少をどう捉えいかに対応してゆくか、ということでした。会員減少が「ロータリーの危機」
なのではありません。会員減少は、「危機」の表れです。ロータリーの魅力の低下、クラブ活力の低
下、クラブ組織の硬直化にこそ「危機」の本質があります。

ロータリー運動そのものが時代遅れだという人もいます。私は社会情勢や外部環境にロータリー危
機の原因を求めても、問題解決はできないと考えています。課題は、ロータリーの内部に、クラブの
内部にあります。

今、クラブや地区の活動のあちこちで活力再生の兆候、未来への「希望」の芽は育ちつつありま
す。クラブの中に「希望なんてどこにあるの？」と思う方は、クラブの現状に「あきらめ」や「不信」
を感じているのでしょうか。問題意識を持たずアクションを起こそうとしない方は、「会員はだいぶ減っ
たが、(残った) 会員は皆仲が良いから」と現状を是とし安住しようとしているのでしょうか。単なる「仲
良しクラブ」に陥ったクラブに未来はありません。

「希望」とは私たち(ロータリーそしてロータリークラブ)が持っている可能性を信じることです。現状
に安住する気持ちからは希望は生まれません。変化を強く望む心に希望は生まれます。クラブの将来
像をみんなで語り合い、クラブに対する思いをひとつにすることから、希望は始まる、ということ
を、地区協議会や地区大会でのガバナー・メッセージやクラブ公式訪問などあらゆる機会に訴えて
きました。



危機を言い募るだけではなく、希望を語ることから始めること。そして、クラブ指導者の皆様は、クラブの中の希望の芽を育て、次世代へ希望を伝えてゆく責任があることを、再確認したいと思います。

私は、ロン・バートン会長のテーマと地区スローガンを一体化して地区内会員へのメッセージとしています。

「ロータリーに積極的に参加し、自分の生き方を変えれば、自分の中に「希望」を発見するでしょう。そして、その「希望」をクラブの仲間と分かち合い行動を起こせば、みんなの人生をより良いものに変えてゆく可能性、すなわち「希望」を確信するでしょう。」

ところで、「希望」を語ることでできるクラブの条件とは具体的に何でしょうか。元気なクラブ、魅力的なクラブ、活力のあるクラブ、会員が楽しく参加できるクラブとは、どういうクラブのことを言うのでしょうか。元気なクラブづくりの障害となる主因は二つです。「前例主義」と「年功序列」が、ロータリークラブの諸悪の根源です。諸悪とは言うまでもなく、クラブの魅力や活力の低下、クラブ組織の硬直化のことです。

まずは「前例主義」。ロータリアンはリーダーの集まりですから、事業の成長・発展のため、日頃職場では改善やイノベーションを強く求めているはずですが、不思議なことにロータリークラブの運営に関しては、クラブ会長になっても、前年のやり方を踏襲するだけで事足りてしまう方が多いのです。いわゆるワン・イヤー・ルールに従って大過なく過ごそうとでも考えているのでしょうか。どんな組織も放っておけば、衰退への道を辿ることになります。

次に「年功序列」。企業においては、年功序列の弊害が言われて久しいのですが、会員は皆対等・平等であるべきロータリークラブで、そういう言葉を聞くことがあります。歴史の長いクラブで今でもときどき耳にするのは、「長老支配」という言葉です。何か新しいことを始めたいと思っても、声の大きいベテランロータリアンが反対すれば、何事も当たり障りのない意見に落ち着いてしまうことが多く、若い会員が提案した新規事業の企画はつぶされ、結果としてクラブへの参加意識やロータリーに対する意欲が低い会員が多くなるというのです。

2840 地区の初代ガバナーである、故・関口 隆 元ガバナー（2000 - 2001 年度）は、ロータリアンは「他律から自律への自己改造」を行うべし、といつも語っておられました。先輩の教えや指示に従うだけの他律的な生き方から、ロータリーの理念や組織のルールを得心した上で、主体的にロータリー活動に取り組む自律的ロータリアンに成長する必要があること、そして、先輩ロータリアンは若い会員の「自律」を支援し、存分に能力発揮できるよう導く責務があること、を強調されたのです。

「他律から自律への自己改造」は、クラブにおいても言えることでしょう。公式訪問で地区内クラブをまわって見て意外だったのは、クラブ運営に関して、RI や地区の指示を仰いだり、指示を受けてから対応したりしようという、他律的な態度のクラブが少なからず見受けられたことです。RI や地区が提示するロータリー全体や地区全体の理念や実践に関する方向性や重要課題を、どう受け止め何に



フォーカスするかは、クラブの意思にかかっています。「希望」は、主体的に考え行動する自律的ロータリアン、そして自律的なロータリークラブが描く未来の中にしかありえません。

誤解してほしくないのは、自律的なロータリークラブは閉鎖的なクラブとは違うということです。クラブの「自治権」を主張するだけで、地区や RI の動向や活動には無関心・非協力的な態度をとる、地域社会に対する奉仕活動も活発とはいえない、そうした「伝統的クラブ」が見受けられます。地域社会、そして他クラブや地区、RI に開かれたクラブとして交流や相互研鑽を深め、地域における存在価値を高めるとともに、世界的ネットワークであるロータリーの特権を積極的に享受するクラブこそが「希望」をつかむことができるでしょう。

ロータリーという組織は可能性に満ちています。情報ネットワークでつながった 21 世紀の世界の中で、地域に根ざしたロータリークラブは、新しい共同体の核、新しいネットワークの結節点となることができるでしょう。もちろん、そのためには、自律的クラブ、開かれたクラブであることが前提となります。

ロータリーの「奉仕の理念」は人生哲学ですが、可能性追求の哲学でもあります。私は、この連載で様々な角度から「ロータリーとは何か」を語ってきましたが、ロータリーの未来を創ってゆくには「ロータリーとは何でありうるか」、「ロータリーには何ができるか」、「私たちロータリアンは何をなすべきか」を問うことが重要です。本質を問うことから可能性を問うことへ、私たちの「ロータリーの希望」を探求する旅はこれからも続きます。

ガバナー職を務めながらの連載は、困難を極めました。締め切りが迫ると血圧があがりました。しかし、限られた時間の中での執筆は、かえって集中力を高めました。また、最初は単にロータリー用語の英語原文と邦訳の語義のずれやそれに伴う多くの日本ロータリアンのロータリー理解に対する私の違和感を伝えようと思っていたのですが、ガバナー職を務める日々の思いや各地のロータリアンの皆様との交流、ガバナー職としての様々の得難い貴重な体験が連載の内容や方向を次第に変えてゆきました。不十分ですが、ロータリーの「奉仕の理念」とその実践についての本質的論議や問題提起を少しは私なりにお伝えすることができたのではないかと、今は感じています。

私が言い続けてきたのは、「ロータリーの力」、そして「言葉の力」を信じようということです。言葉は危ういものです。人を正しく導くこともできれば道を誤らせることもできます。心を動かすこともできれば惑わすこともできます。しかし、私たちが、正しく問い正しく考えることを怠らなければ、ロータリーの言葉はこれからも、私たちにより良く生きる力を齎し続けるでしょう。

一年間ご愛読ありがとうございました。



2013-2014 年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 現新地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2014-2015 年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

2014年	1月12日(日)~18日(土)	国際協議会(ガバナーエレクト出席)	サンディエゴ	
	3月2日(日)	地区チーム研修セミナー	太田 ティアラグリーンパレス	
	3月15日(土)~16日(日)	会長以外・次年度幹事セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一	
	4月6日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館	
	4月19日(土)	地区研修・協議会(旧:地区協議会)	太田 ティアラグリーンパレス	
	5月24日(土)	am: 第2回ガバナー補佐会議 pm: 会員増強セミナー	前橋問屋センター会館	
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁	
	5月25日(日)	18:00 現新地区役員連絡会議	群馬県庁	
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー	
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所	
	6月29日(土)	青少年受入学生歓送会・夏期交換学生歓送会	前橋問屋センター会館	
	7月5日(土)	インターアクト合同会議	利根商業高校	
	7月12日(土)	am: 第1回ガバナー諮問委員会 pm: 第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館	
	7月13日(日)	青少年交換長期交換学生壮行会	前橋問屋センター会館	
	7月26日(土)	インターアクト年次大会	利根商業高校	
	8月9日(土)	地区指導者育成セミナー	太田 ティアラグリーンパレス	
	8月9日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	太田 ティアラグリーンパレス	
	8月10日(日)	地区大会	太田市新田文化会館エアリスホール 太田 ティアラグリーンパレス	
	8月20日(水)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館	
	8月23日(土)	地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス	
	8月30日(土)	青少年交換派遣学生帰朝報告会・受入学生歓送会	前橋問屋センター会館	
	9月13日(土)	地区米山記念奨学セミナー	前橋問屋センター会館	
	9月20日(土)	第2回ガバナー諮問委員会	太田	
	9月21日(日)	青少年交換委員会(受入学生オリエンテーション)		
	9月21日(日)	RIセミナー Part I	前橋問屋センター会館	
	9月28日(日)	地区大会記念チャリティーゴルフ大会	太田 鳳凰ゴルフクラブ	
		10月11日(土)~12日(日)	RYLA研修会	高崎倉淵エリア
		10月19日(日)	RIセミナー Part II	前橋問屋センター会館
10月26日(日)		地区決議会(会長・幹事会)	前橋商工会議所	
	11月8日(土)	ロータリー財団補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス	
	11月9日(日)	青少年交換派遣学生選考会	前橋問屋センター会館	
	11月16日(日)	RIセミナー Part III	前橋問屋センター会館	
	11月25日(火)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	ホテルグランパシフィック LE DAIBA	
	11月26日(水)	ガバナー会(GETS)	ホテルグランパシフィック LE DAIBA	
	11月27日(木)~28日(金)	ロータリー研究会	ホテルグランパシフィック LE DAIBA	
	12月6日(土)	米山学友会忘年会	前橋商工会議所	
	12月()	茶の湯研修会		
	12月20日(土)	青少年交換学生クリスマス会・派遣候補生第1回オリエンテーション	前橋問屋センター会館	

2013-2014 年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予定日	開催場所
前橋中央	20	2014年3月1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
高崎セントラル	15	2014年4月4日(金)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月5日(土)	伊勢崎プリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央イベント広場(式典)・前橋テルサ(記念事業)
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館
伊勢崎東	20	2014年6月21日(土)	伊勢崎プリオパレス



新会員紹介



新会員名 茶野 栄一
 クラブ 前橋東
 入会日 2014年4月10日
 職業分類 電子機械器具製造
 勤務先 (株)茶野電機工業
 役職 代表取締役
 推薦者 町田仲廣・田部井光男



新会員名 野村 滋
 クラブ 桐生西
 入会日 2014年5月23日
 職業分類 ホテル業
 勤務先 株式会社タイムプロデュース
 役職 代表取締役
 推薦者 中野幸三郎・七五三木正



新会員名 川合 宏一
 クラブ 桐生赤城
 入会日 2014年5月20日
 職業分類 特別養護老人ホーム
 勤務先 社会福祉法人希望の家 のぞみの苑
 役職 施設長
 推薦者 町田 裕一



新会員名 兵江 昇
 クラブ 伊勢崎中央
 入会日 2014年4月17日
 職業分類 団体生命保険
 勤務先 日本生命保険(相) 伊勢崎営業部
 役職 営業部長
 推薦者 小野 岳彦



新会員名 水島 高弘
 クラブ 高崎東
 入会日 2014年4月3日
 職業分類 鋳造業・マンホール製造
 勤務先 株式会社 水島鉄工所
 役職 取締役社長
 推薦者 羽鳥 武久



新会員名 野村 眞二
 クラブ 高崎セントラル
 入会日 2014年5月13日
 職業分類 損害保険
 勤務先 三井住友海上火災保険(株)
 役職 群馬自動車営業部長
 推薦者 吉村 修二



新会員名 吉元 義久
 クラブ 太田
 入会日 2014年5月8日
 職業分類 食品製造
 勤務先 サッポロビール(株)群馬工場
 役職 工場長
 推薦者 石川 重政



新会員名 天笠 秀昭
 クラブ 太田南
 入会日 2014年3月4日
 職業分類 不動産管理
 勤務先 (有)天一不動産
 役職 代表取締役
 推薦者 加藤 博



新会員名 長谷川 俊道
 クラブ 太田南
 入会日 2014年3月4日
 職業分類 仏教
 勤務先 宗教法人端岩寺
 役職 副住職
 推薦者 村木 一夫



新会員名 黒河 建三
 クラブ 大泉
 入会日 2014年4月8日
 職業分類 電機器具製造販売業
 勤務先
 役職 三洋電機(株)客員
 推薦者 杉本 保典



新会員紹介



新会員名 秋山 武郎
 クラブ 安中
 入会日 2014年5月13日
 職業分類 非鉄金属
 勤務先 東邦亜鉛株式会社 安中製錬所
 役職 所長
 推薦者 須藤 英仁



新会員名 高橋 芳宣
 クラブ 富岡中央
 入会日 2014年5月8日
 職業分類 陶芸家
 勤務先 かんら陶房
 役職 主宰者
 推薦者 富岡 隆



新会員名 小林 宣行
 クラブ 藤岡南
 入会日 2014年4月18日
 職業分類 屋根板金工事
 勤務先 (株)上州
 役職 代表取締役
 推薦者 豊川 一男

こぴっと がんばれし!
 もうちっとんべえ
 やってんべー!





文庫通信 (321号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

◎ 「米山日満ロータリー聯合会々長の演説」

(東京ロータリー倶楽部創立十九周年記念會に於ける) 米山梅吉 1939 2P

◎ 「日満ロータリー新機構の準備」 国際ロータリー月報 1939 2P

◎ 「日満ロータリー聯合会記録」 日満ロータリー月報 1939 1P

◎ 「コンフェレンスのあと1〜3」 米山梅吉 D.70 1931 25P

◎ 「教科実習 行商日記 (1)」 古澤丈作 実科教育第四号 1903 4P

◎ 「教科実習 行商日記 (2)」 古澤丈作 実科教育第五号 1903 6P

◎ 「非常時局とロータリー精神」 南次郎

国際ロータリー・第七十区第拾年次大会 (京城) 1939 4P

◎ 「ロータリーの起源と精神」 伊藤次郎左衛門

ロータリー第七十区第六年次大会記録 1934 5P

◎ 「年次大会講演」 井坂孝 国際ロータリー第七十区第八年次大会 1936 4P

◎ 「年次大会講演」 村田省蔵 国際ロータリー第七十区第八年次大会 1936 4P

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



第2840地区 4月出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	1,875	1,916	1,928	12	84	85.14

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区分区	前橋	4	88.43	111	112	111	-1	8
	前橋西	4	83.32	52	53	52	-1	3
	前橋東	4	84.92	65	68	69	1	5
	前橋北	3	88.56	64	68	69	1	5
	前橋南	4	97.80	32	34	34	0	0
	前橋中央	5	78.52	33	29	29	0	6
	合計		86.93	357	364	364	0	27
	第2分区分区A	桐生	4	82.56	61	62	62	0
桐生南		5	72.80	23	25	25	0	1
桐生西		4	87.47	53	51	53	2	1
桐生中央		4	74.04	24	26	26	0	4
桐生赤城		4	92.50	42	41	41	0	5
合計			81.87	203	205	207	2	11
第2分区分区B		伊勢崎	4	94.13	72	74	73	-1
	群馬境	4	89.97	29	27	27	0	1
	伊勢崎中央	4	91.61	64	73	74	1	0
	伊勢崎南	4	83.33	21	21	21	0	1
	伊勢崎東	4	85.35	30	28	29	1	1
	合計		88.88	216	223	224	1	3
	第3分区分区	高崎	3	87.70	61	64	65	1
高崎南		4	73.04	62	64	64	0	4
高崎北		4	73.85	63	70	72	2	0
高崎東		4	83.15	37	36	37	1	1
高崎ソフオー		3	76.67	36	40	40	0	4
高崎セントラル		4	100.00	34	33	34	1	0
合計			82.40	293	307	312	5	9

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区分区A	太田	4	93.38	69	67	68	1	3
	太田西	4	86.82	15	18	18	0	2
	太田南	4	83.56	38	38	38	0	0
	新田	4	84.21	23	19	19	0	0
	太田中央	4	81.25	44	44	44	0	2
	合計		85.84	189	186	187	1	7
	第4分区分区B	館林	4	82.78	44	45	45	0
大泉		4	87.86	25	28	29	1	2
館林西		5	78.94	20	19	19	0	0
館林東		5	92.00	25	27	27	0	2
館林シニアム		4	97.82	25	24	25	1	0
合計			87.88	139	143	145	2	4
第5分区分区	渋川	4	96.01	54	52	51	-1	4
	沼田	4	75.49	60	61	61	0	1
	草津	4	73.85	16	16	15	-1	1
	中之条	4	87.95	23	22	22	0	1
	沼田中央	4	86.25	51	55	56	1	1
	渋川みどり	5	84.68	40	42	44	2	3
	合計		84.04	244	248	249	1	11
第6分区分区	富岡	4	92.31	48	48	48	0	4
	藤岡	4	90.22	43	46	46	0	2
	安中	3	88.17	28	31	30	-1	0
	藤岡北	4	81.94	14	16	16	0	2
	富岡中央	4	86.36	42	40	40	0	1
	碓氷安中	4	85.71	14	14	14	0	2
	藤岡南	4	77.03	17	18	19	1	1
	富岡かぶら	4	72.22	28	27	27	0	0
合計		84.25	234	240	240	0	12	



ガバナー事務所からのお知らせ

1、年度末会員数報告についてご注意ください。

毎年、年度末の会員数報告で混乱が生じています。当月月末会員数と次月月初会員数は一致しなければなりません。前月末日の報告人数に当月に入会した会員を加え、当月末日までに退会した会員数を引いて当月末会員数とし、それを次月 14 日までに地区ホームページトップページより入力することになっています。

年度末は、特に理事会の承認が得られていない等の理由で 6 月末退会者の数を引かずに報告し、1 か月後に 7 月月初の会員数から引いて報告する例が過去に見られました。年度代わりの次年度への引継ぎをよろしく願いいたします。ご不明な点は本田ガバナー事務所までお問い合わせください。

2、地区ホームページをご活用ください。

地区ホームページの本田博己ガバナー事務所のページには、クラブ運営に関する様々な参考資料を掲載しています。クラブの年次総括、次年度リーダーへの引き継ぎ等にご活用いただければ幸いです。

編集後記

2013-14 年度の「ガバナー月信」は、本号（第 12 号）をもちまして最後となります。1 年間ご愛読いただき誠にありがとうございました。

毎月連載させていただいた本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」ではロータリーの本質をやさしく、楽しく解説いただき、まさに目から鱗でした。

また、パストガバナーの方々からは味わい深いエッセイを多数お寄せいただきました。

地区行事報告では皆様のご協力によりタイムリーかつ臨場感のある情報発信ができました。

そして、ガバナー考案により会員の笑顔写真が表紙を飾りました。皆さん、これからも笑顔でロータリーをエンジョイしましょう！

なお、本田ガバナー年度の地区活動の年間総括として、月信終刊号を 7 月中旬に発行する予定です。お楽しみに！

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井 尚久（前橋RC）